

平成23年度第2回小牧市立図書館選書委員会会議録

- 1 開催日時 平成23年11月29日(火)
午後3時～午後5時
- 2 開催場所 小牧市立図書館 1階 集会室
- 3 出席者 会長 多田 昭子
副会長 大間知 千鶴子
委員 木村 芳博
 " 森 勝昭
 " 中川 裕子
欠席者 委員 百瀬 正昭
事務局 山田館長
 佐藤係長
 林主査
 辻田主事
- 4 議題 (1) 選書について
(2) その他について
- 5 会議資料 選書資料
- 6 議事内容
(1) 選書について

選書資料1 『華族画報 上・下』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料2 『西尾幹二全集 全22巻』について

【事務局】 可が1、保留が4ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 全22巻で値段は高いが、最近また個人的に読んで、心に残っているのが可とした。

【委員】 保留にした。所蔵がたくさんあるので、それをまとめたものかと思っ保留にした。別に反対する理由もない。

【委員】 私もよくわからない。たくさん本があるので、哲学者なのか政治学者なのか文学者なのか、よくわからない。

- 【委員】 西尾幹二の本で感銘を受けた本があり、最近も必要があつて古い本をもち出して読んだ。自分の中では、この人の名前は、いい意味で名前が残っている。普通なら、全22巻で金額が高いから選ばない。
- 【委員】 ジャーナリストでもあり思想家でもある。
- 【委員】 目次の内容で「私を語る」を読んでもみると、おもしろい視点で書いていると言う感じはする。
- 【委員】 新しい物の所蔵もあるので、これを読んでいただければいいと思う。
- 【事務局】 事務局判断とします。

選書資料3 『江戸艶本集成 全13巻』について

- 【事務局】 可が1、不可が2 保留が2ですので、ご協議をお願いします。
- 【委員】 今日の資料で一番のテーマだと思う。可にした。はっきり言って、エログロか芸術の分かれ目。浮世絵としては、すごく芸術的価値があると言われている。1枚や2枚見たことは、誰でもある。これは、閉架書庫に入れておき、小牧図書館にはこんな本もあるというようなことで、芸術的価値は、認められているので悪いものではない。人間の根本みたいなものが書いてあるのではないかと思う。私はいいい機会だから入れた方がいいと思い、可にした。
- 【委員】 これは難しい。あえて図書館に置く必要はない。興味のある人が個人的に持っていけばよい。あえて、公共図書館に入れる必要はない。芸術性とかは問題ないが、日本人の機微のところでは触れざるおえないが、触れるといけない微妙なところ。公共図書館に並べるといえるかどうか。
- 【委員】 閉架にして、貸出は不可にすればよい。
- 【委員】 閉架の資料は、どのようにして閲覧ができるのか。
- 【事務局】 自由に見ることはできない。基本的に利用者の請求によって出し入れする。
- 【委員】 高校生でも請求すれば見えるのか。
- 【事務局】 年齢制限はない。
- 【委員】 作家をみると、北斎とか広重もある。一級の浮世絵師が入っているということからすると、十分に彼らの芸術性の高さは通常のもので見ることができると思う。彼らが大人の裏の部分を作って、この時代に出して売っていたという紹介ならいいが、この絵をそのまま並べて、出すことが「芸術性を学ばせる」との必要性があるのかどうかは若干疑問。
- 【委員】 芸術を学ばせるということではない。これは外国の人も認めてい

る。日本の春画には、素晴らしい物があるというような感じで、図書館に行ったら見られるという事があってもよい。世間に出まわっているアダルトビデオより品があると、言われることもある。こういうものがあつたら見たいなと思って、私は買ってもらいたいと思った。確かに誰も彼もが見える状態で置いておくのは反対。

【事務局】 このテーマは、いろいろな意見が分かれるところでもあるので、充分ご意見を戦わせて下さい。現状でみるとこういう本は、切り抜かれてしまう被害をうけやすい。こちらは、貴重な資料と考えても一般的には、なかなか理解されない。結果として「買わない」となってしまう。貸出禁止とするのも一つの方法だが、今度それを見せる場というの、展示をするぐらいしかないのでは、十分活かさないことになる。

【委員】 買わなくても、そんなにこだわるわけでもない。1枚か2枚見せていただいたが、綺麗に線が一本一本書いてあって、すごい技術だと思った。浮世絵というものは、表情があるようなないようなおっとりした品がある。

【委員】 興味のある人は、新聞からでも注文できる。

【委員】 この資料の中でも、人によっては何件か所蔵している。たとえば、歌麿だったらずいぶん入っている。これは、特殊な部分が載っているわけだから、欲しい人は個人的に買えばよい。金額も張る。

【委員】 その特殊な部分が大事。個人では、買えない。

【委員】 個人では買えないが、新聞には、そんなに高くないものも載っていて、購入することもできる。

【委員】 歌麿20件・北斎74件、有名な浮世絵はたくさん所蔵している。

【委員】 今のところ絶対に買ってという事ではなくて、一人買ってほしいという人がいたという事でいいです。

【事務局】 事務局判断とします。

選書資料4 『仏画類聚 全5巻』について

【事務局】 可が1、不可1 保留が3ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 専門知識はないが、裏を見ていただくと高麗時代の仏画が2000年であとは古い。なにか惹きつけられるものがあつた。最新のカラーが使っており印刷がきれい。2000年以降は外国の仏画なので、国内の新しいものがない。値段は本当に高いが、図書館の財産として持つこともよい。値段を別にしたら欲しいと思ひ可にした。

- 【委員】 いいと思ったが、値段で保留にした。高い。
- 【委員】 仏画と言えば特殊。所蔵が一応あるし、やはり値段が高い。
- 【委員】 仏画は、大事に博物館等で保存されている。実物は真っ黒でよく見えない。絹や紙にで書かれているので、年々滅びゆくし、芸術としても滅びゆくもの。
- 【委員】 本物は、ほとんどここまで鮮明に見えない。本当は、よく見たい部分も見えないので、実際のものと同様に照らし合わせると言う事の為には、いい資料だと思う。
- 【委員】 実物は、古くなって黒ずんでいるので見えない。だから、綺麗な印刷のものを見たい。
- 【委員】 高い物でなくてもよい。
- 【委員】 あればあったでいいが、値段が高い。この程度の本なら他にもあるし、これだけの金額を出すなら、まだほかに、買う本があるのではと思って保留にした。
- 【委員】 値段だけですね。
- 【事務局】 事務局判断とします。

選書資料5 『新古今和歌集 全6巻』について

- 【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料6 『日本会社100年史 全1巻』について

- 【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料7 『化学工学便覧』について

- 【事務局】 可が2、不可が2保留1ですので、ご協議をお願いします。
- 【委員】 この方面全然わからないが、全集ではなくて、1巻で新しい物の方が、新しい発見があると思って可にした。
- 【委員】 学会の記念出版と書いてあるが、以前にこういうものがあって建築なら建築部門の専門書ということで一般図書館に置く必要はないということがあった。大学生が勉強するための一つの資料ではある。利用価値からいうと一般の人の利用はほとんどない。だから不可にした。
- 【委員】 ページの中身の紹介があるが、ほとんどわからなかった。専門的に興味をもった人にはいいと思う。
- 【委員】 保留にした。
- 【事務局】 99年の版は、所蔵している。全部まるごと変わるってことはありえない。基本的な所はそのままだと思う

【事務局】 事務局判断とさせていただきます。

選書資料 8 『日本の伝統文様事典〈花〉 全4巻』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料 9 『日本画家人名事典』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料 10 『科学・技術・倫理百科事典 全5巻』について

【事務局】 可が2、不可2、保留が1ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 最初は保留にした。可にしたのは、今、科学も技術も倫理と関連して考えなければいけない方向にある。専門的かもしれないが、まとめたものがないと書いてあるので、可にした。

【委員】 7番よりは必要だと思うが、科学・技術・倫理というのは編集がどうか。むつかしい。

【委員】 少し見ると、脳死とか、何処で線を引くか、人間にできない判断を迫られることはだんだん増えると思ひ、可にした。なかなか見ない本。

【委員】 なぜ科学と技術と倫理を合わせて、百科事典を作ったのかわからない。倫理なら倫理の百科事典・科学なら科学の百科事典でいいと思うし、この3つの特定項目をどうして選んだのかわからない。もちろん面白そうで読んでみたい項目はあるが、この特定項目の基準が、何処からきたのかわからない。百科事典と言いながら、特定の範囲しか見られない。その中途半端が気になったのと、値段が高いという事で不可にした。

【委員】 全部取り上げていたらきりが無い。

【委員】 二つに分かれたので事務局判断をお願いします。

【事務局】 事務局判断とします。